



平成 22 年 7 月 2 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A C C E S S
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鎌 田 富 久
(コード番号 4813 東証マザーズ)
問 合 せ 先 社 長 室 長 須 田 昌 樹
(T E L . 0 3 - 5 2 5 9 - 3 5 6 4)

ACCESS Linux Platform™(ALP)ビジネスの状況および

当社子会社における人員削減に関するお知らせ

当社は平成 22 年 7 月 1 日開催の常務会におきまして、ALP 開発の進捗状況を踏まえて今後プラットフォーム関連の研究開発投資を抑制することとし、併せて当社連結子会社において人員削減策を実施することを決定いたしました。また、これらに伴い特別損失を計上する予定ですので、下記の通りお知らせします。

記

1. ALP 開発の進捗状況および人員削減の理由

当社および当社グループにおきましては、ALP の開発に取り組んでまいりましたが、これまでに大規模な開発段階は終了し、下半期以降は既に開発が完了したプログラムの品質向上に係る開発が中心となることが見込まれます。これに伴い、プラットフォーム関連の研究開発投資の削減と研究開発リソースを他の成長分野に配分するための再配置が喫緊の課題となっております。

また、Emblaze 社(本社イスラエル)が、その子会社であり当社事業提携先であります ELSE 社の事業に関しまして、First ELSE™と呼ばれる携帯電話端末の開発・販売を中止し、ELSE™ INTUITION と呼ばれるモバイル端末向けソフトウェアソリューションの普及に注力することを、現地時間 6 月 30 日付のプレスリリースで発表いたしました。(ELSE™ INTUITION は、ALP をベースとして先進的な UI 環境を提供するモバイル端末向けのソフトウェアソリューションです。)

これらの状況を受けて、当社および当社グループは、市場動向等を勘案の上、ELSE™ INTUITION のライセンスビジネスに重点を移し、これを強力に推進するとともに、LiMo Foundation のモジュールを利用したソリューション展開に全力を注いでまいります。このため、ALP 開発に係るリソースを削減し、併せて管理部門を縮小することにより、開発規模に見合った適正なリソース配分の実現を図ることを目的とし、人員削減を行うものであります。

2. 人員削減の内容

(1) 実施企業

アクセス・システムズ・アメリカズ・インクおよびアクセス・システムズ・ユー・エス・イー・インク

(2) 対象者数 72 名(2 社合計)

うち、アクセス・システムズ・アメリカズ・インク : 16 名

アクセス・システムズ・ユー・エス・イー・インク : 56 名

(3) 実施時期 平成 22 年 7 月 1 日(一部平成 22 年 9 月 15 日予定)

(4) その他

社内規程に従い、特別退職金を支給いたします。

3. 今後の業績見通し

今回の人員削減の実施において発生する特別退職金の加算支給等により、特別損失の計上および人件費の削減効果を見込んでおります。また、上述のEmblaze社のプレスリリースに関連して、当社が開発を行ってきたFirst ELSE™ に係る仕掛品につきましても損失処理を計上する予定であります。

上記が当社および当社グループの業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、明確になり次第速やかに開示いたします。

(ご参考) 当期の通期連結業績見通し(平成22年3月15日公表)および前期実績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
当期業績予想 (平成23年1月期)	30,843	2,833	3,040	1,069	2,728円99銭
前期実績 (平成22年1月期)	32,400	2,602	2,865	493	1,260円98銭

本資料内に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上